

月刊フットマーク



2022年9月26日(月)第68号

月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しく役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。

「ほかの人と水着の柄がかぶるのが嫌だ」
その思いがこのオーダーメイド水着サービスの原点。



オーダーメイド水着サービス

水着柄100選

— みつけた、新しいワタシ。 —

「水着柄100選」は、希望の上着の形・サイズ、100種類の柄から自分好みの水着をつくることのできる新たな水着の買い方です。友人と水着の柄が被って気まづかったり、珍しい柄や派手な水着を探していたり、水着にこだわりた方へ。お気に入りの柄をみつけたら、同じ水着をいつでもリピート購入可能です。水着は上下共に耐塩素に優れたポリエステル100%の生地で、着用や洗濯による形崩れや色落ちを軽減させ、長くご使用いただけます。

選べるボトムス

めくれ防止スナップ付き



長持ちする水着・下

座ったままでも脱げる水着・下

たとえば...

スイミングクラブでカタログから選んで注文、完成したらスイミングクラブで受け取り。などが可能です。



必要な分だけつくるメリット

- ・在庫の消化率100%
- ・廃棄ゼロ
- ・販売店舗で在庫を持たなくてよい
- ・販売機会のロスがなくなる (好みのデザインで合うサイズがない等)

環境にも優しい!

NEWS

墨田区のものづくりが熱い



3M... 「小さな博物館」(Museum)
「工房ショップ」(Manufacturing shop)
「マイスター」(Meister)



市松人形師・藤村光環さんと会長磯部の座談会



小さな博物館「フットマークギャラリー」を紹介

先日、東京墨田区の3M事業社が集まる懇親会がありました。「すみだ3M(スリーエム)運動」とは、1985(昭和60)年にスタートした、墨田区の産業PRとイメージアップ、地域活性化を図る事業です。フットマークでは小さな博物館として誰でも見学できる「フットマークギャラリー」を運営しています。

この日は3M運動の区内の事業社がフットマークに集結。今後の墨田区のものづくりについて意見交換をしました。また市松人形師・藤村光環さんと磯部成文会長の対談なども実現。職人とメーカー、立場は全く違いますが、大切にしていることやお客様へ想いなど、共通点がいくつもありました。



誰でも見学できるフットマークギャラリー!

電話: 03-3846-3382

開館日: 火曜日~金曜日(祝祭日を除く)
午前9時~午後4時 ※事前に要予約

FOOTMARKな人々

山田 樹
yamada tatsuki

入社年 2019年

部門 学校教育事業部

出身地 東京都

趣味 特技: 自分で散髪すること
趣味: サッカー、古着屋巡り

私の健康法 早歩きで移動する



私のおすすめ商品

RAKUSACK

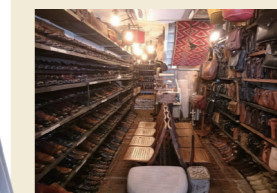
背負いやすく軽く感じるカバンです。中高生向けに作られたカバンですが、大人でも仕事などで使いやすい機能とデザインになっているのでオススメです。

高円寺でおすすめの

古着屋ベスト3



chart



1階には革靴がズラリ。入った瞬間にテンションが上がる古着屋です。棚には左足しかなく、隣の系列店に右足があるので、試し履きしたい時は店員さんが急いで右足を取りに行ってくれます。

MILITARIA

オーナーがヨーロッパを旅してセレクトしたヴィンテージの軍服が並んだ古着屋。いかにもミリタリーという服ではなく、上品なデザインや珍しい形の服も多いので行く度に新しい発見があります。



SAFARI3号店



高円寺を中心に6店舗展開している中の3号店では、状態の良い高級革靴をお手頃な価格で購入できます。それぞれの店舗で並んでいる服のジャンルが異なるので、短時間でSAFARIの数店舗だけを巡っても十分に楽しめます。

フットマークと産学連携



■1960年代の後半、おむつカバー専門メーカーであった磯部商店（現：フットマーク）は、ある時「赤ちゃんは股関節が脱臼しやすい」との声を耳にし、情報を集めていました。

赤ちゃんの足は、両足がカエルのように広がっています。これが正常なカラダの形です。しかし、おむつカバーを当てると否応なしに広がった両足が狭くなり、その結果、股関節が脱臼しやすくなります。そこで股幅を広くした「股関節脱臼予防おむつカバー」（略してコダツ）を千葉大学と開発しました。これがフットマークと産学連携の始まりとっていいと思います。

誕生してくる赤ちゃんのうち、ごく少数の赤ちゃんを対象にしたいへん特殊なおむつカバーだけに他のおむつカバーメーカーは手を出しませんでした。磯部商店の販売先である中央区馬喰町、横山町の繊維問屋さんへ卸しても売ることがない製品でした。しかしごく少数の赤ちゃんでも身体健全に育てたいとの願いから「股関節脱臼予防おむつカバー」を商品化したことは、今日のフットマークが大切にしている「1/1（いちぶんのいち）の視点」の礎になっていると思います。

■また1990年代の健康志向の高まりをいち早く感じたフットマークは、「プールを泳ぐ場から運動する場へ」をプール業界に提唱し、主として中高年の女性を対象に水中運動、水中歩行の普及活動を全国的に展開しました。鹿屋体育大学・田口信教先生（ミュンヘンオリンピック金メダリスト）には水圧、水流、水温、水深などの水の科学的魅力を再三にわたってフットマーク主



スイムミラー

催のセミナーで講演いただきました。田口先生はたいへんなアイデアマンで、スイムミラー、4泳法指導パネル、泳法タオル、NHKの初心者水泳指導ビデオ「SWIM」の制作・監修に関われ、フットマークは「スイム」のビデオ販売を実施、全国の水泳コーチからご注文をいただきました。

■2002年に開発した「フィールアライナ」も産学連携の事例の一つです。当時老化現象の一つである転倒事故は増加の一途をたどっていました。また高齢者の増加から国の保険料の高騰という社会問題が騒がれ始めたような時代でした。転倒をしてから、今まで元気だったのにもかかわらず寝たきりになってしまうケースも少なくありません。高齢者になっても快適にそして元気に生活できるようにと、その足もとをサポートしていきたいと考えました。

しかし専門的な技術はフットマークにはなく、学術的な知見からアドバイスをもらえるような先生とのつながりもありませんでした。そこで紹介されたのが、東京大学身体運動科学研究所（当時）の渡會公治先生でした。先生の「フィールアライナ理論」は今もなおフットマークの健康インナー事業のベースとなっています。

■これまでの商品開発を振り返っても、健康を裏付ける医学的知見、データなどを研究している医学系の大学、出産、育児に関わる産婦人科医院との協力はつながりを持ちたいといつも心掛けていました。

これからも「大学、病院、専門家、行政などの外部の組織と連携してフットマークがお客様（生活者・ユーザーさん）のために健康に役立つ創意あふれる商品とサービスを創り、お客様に提供していきたいと考えています。



フィールアライナ



記憶に残る小さな足あとを

8月21日より77期目がスタートしました。この夏はコロナ禍で中止となっていた学校の水泳授業が全国的に再開されるという本当に嬉しいニュースがある一方で、販売面では一部ご注文に対応できずお待たせするなど、大変ご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。76期の教訓を生かし、77期のシーズンは万全の体制で臨む所存です。

また販売先様やお取引先様においては、生徒さんの対応に丸となりご尽力いただいたことに深く御礼申し上げます。

さて先日発表した「男女共用セパレーツ水着」は様々なメディアや学校関係・ご父兄の方・お取引先・関係者などから予想以上の反響をいただきました。1つの商品

が、多方面へと影響を与え、大きな動きのきっかけとなっていることを認識させられる機会となりました。より一層のやりがいを感じるとともに、それが私たちに課せられた使命であると思うと身の引き締まる思いです。

そしてもう一つ嬉しい出来事がありました。かつて職場体験で商品企画に参加された学生さんが弊社を就職先として志望していただいたことです。志望動機はその時の体験でものづくりが好きになったからということでした。ご縁があり来春から一緒に働くことになりました。

私たちの足跡は一つひとつは小さなものですが、それでもだれかの記憶に残る足跡を残していけるよう今期も精進してまいります。

フットマーク株式会社 代表取締役社長 三瓶 芳



ラクサックを贈ろうプロジェクト始動！

NPO 法人 JIYU 様を通じてカンボジアなどの子どもたちに、使わなくなった RAKUSACK JUNIOR を届けるプロジェクトを実施します。商品の再利用に加え、現地での教育支援などに寄与し、SDGs 目標「1. 貧困をなくそう」、「4. 質の高い教育をみんなに」、「5. ジェンダー平等を実現しよう」、「10. 人や国の不平等をなくそう」、「12. つくる責任つかう責任」、「15. 陸の豊かさを守ろう」、「17. パートナースhipで目標を達成しよう」を実現していくものです。

編集後記

だんだん涼しくなってきたなあと思っていたら、まだまだ暑い日もありますね。今年の夏は、「男女共用セパレーツ水着」のメディアの反響に驚かされました。取材のお礼にとテレビ局さんからいただいたマスコットキャラクターを私のデスクに飾りました。このマスコット、なんともいえない良いサイズ感と握り心地なんです。考え事していると気づいたら左手に持っていたりします。デスクワークの相棒ができました。（飯田）

フットマーク株式会社
東京都墨田区緑2-7-12
広報室
webmaster@footmark.co.jp